

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2016年6月号



発行人：濱塚有史 編集人：君塚彰 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「キャンプの思い出」

澤野 俊理（盛岡YMCA社会人リーダー メニコンリーダー）

こんにちは！メニコンこと澤野俊理です。僕は盛岡YMCAに小学校5年生の時からお世話になってきました。今もリーダーとして関わらせてもらっています。

リーダーになって思う事は、自分って本当に面倒な子供だったのだろうなということです。自分のやりたくないことは基本的にやらないし、ずる賢い子供だったと思うので、当時のリーダーたちはよく付き合ってくれていたなと思います。

そんな面倒な子供時代を振り返るとたくさんの思い出があります。何回か参加していたサマーキャンプでは、リーダーたちは毎回面白いプログラムを考えてきてくれました。当時、僕は高学年だったので少し乗り気ではなく、ほかの友達と一緒に隅で関係のない話をするのが多かったのですが、いつも気が付くとリーダーたちと一緒に楽しんでいました。リーダーたちが上手に乗せてくれていたのだろうと思います。いろいろな個性を持ち、学年も様々な子供たちが参加するので一つのことを皆でやるのは難しいと思います。それでも、場の雰囲気や子ども一人一人を大切にしてくれるのでプログラムは楽しくなるのだと思います。

そして、リーダーになってから昔一緒にキャンプに参加した友達と話したのですが、プログラムはもちろん強く思い出に残っています。しかしそうではない、何気ない時間の何気ないやり取りの方が思い出に残っていたりします。バスで移動しているとき隣の席のリーダーや周りの友達と山手線ゲームをして、くだらない内容で笑いあい初めてあった友達とも仲良くなれました。今までの活動で仲良くなった友達と一緒に経験したこともないかまど作りにチャレンジしたことがありました。リーダー達の手を借りずに何度失敗しても諦めずに作り、出来たときはとても嬉しいものでした。そういった普段できない体験を通して一緒に過ごした友達だからこ所今でも連絡を取り合う仲です。

何気ない時間や、初めてのことに挑戦することを大切にしてくれるからこそ、一つ一つが思い出に残っているのだと思います。活動を通して、一生ものの思い出と一生の友達ができました。今年もたくさんの子供たちがそう感じてくれるでしょう。

リーダーキャンプ!

4月29日に、リーダーキャンプが行われました。これは、新入生リーダー歓迎の意味を含め、リーダー達の絆を深めるべく行われているものです。しかし、今年は、キャンプ場近くに熊が出没したため、キャンプを途中で中断せざるを得ませんでした。残念ながら日帰りとなってしまったリーダーキャンプですが、短い時間の中でもたくさんの思い出が生まれました。今回のキャンプでディレクターを務めたジョアリーダーより、報告が届いています。

こんにちは。岩手県立大学2年リーダーのジョアです。私から、先日行われたリーダーキャンプの報告をさせていただきます。

今回のキャンプは、既存リーダー16名・新入生リーダー43名が参加し、計60名で昨年と同様に矢巾町営キャンプ場にて行われました。新入生歓迎会や各大学でのピラ配りが、こんなにも多くの新入生の参加につながったのだと感じ、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

天気予報では大雨と寒気という悪天候が予報され、不安でいっぱいだった当日は案の定雨が降っていましたが、キャンプ場につくころには雨は上がり、私たちのバスでの盛り上がり雨雲を晴らしたのではないかと、今回参加したリーダーみんなで喜びました。私は、今回の参加が初めてだったので、新入生と同じようにテントで寝るといふことに対してワクワクする気持ちと、みんなで一緒に行うプログラムを楽しみにキャンプに臨みました。しかし、一日目の夜の大雨と熊の出現により途中で帰らざるを得ない状況になってしまい、正直とても残念な気持ちでいっぱいでした。

はじめはこうに思ったのですが、新入生とプログラムを通してそれぞれの個性を垣間見たり、丸太や切り株をみんなで集めて椅子にしてカレーライスを食べたりと、同じ時間をともに過ごし、協力し合い、笑いの絶えないキャンプになったのではないかと思います。

また、帰り際に、新入生が「楽しかった」「今度活動に来てみたい」「みんなで泊まりたかった」などなど、キャンプを続けたいと思ってくれたり、活動への興味を持ってもらえたりと、とても良い時間になったと今では胸を張って言えます。

キャンプから一か月経ちますが、多くの新入生がYMCAの活動に参加してくれて、とてもエネルギーに満ち溢れる盛岡YMCAとなっています!新入生のパワーに負けないように私も活動に参加し、また、活動を通して多くの新入生と関わっていききたいと思っています。

岩手県立大学2年 伊藤 穂南 (ジョアリーダー)



本町センターに集合!これから始めるキャンプに、みんな胸をおどらせています。←



こちらはアイスブレイクの様子。緊張気味だった新入生からも、いい笑顔がこぼれています!←



→ テントの設営も、みんなで力を合わせて行いました。



→ 大きな木を抱える女子リーダーふたり。力持ち!



2016年度 会員総会

盛岡YMCAでは、5月28日(土)に、内丸教会にて会員総会を開催いたしました。

総会に先立ち、深澤秀男副理事長による司会のもと、開会礼拝が行われました。盛岡YMCAの基本聖句ともなっている「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマ信徒への手紙 12章 15節)という言葉葉を、改めて深く胸に刻むこととなりました。

続いての総会では、2015年度の会計報告および事業報告が行われ、引き続き2016年度の事業方針および予算書についての報告が行われました。昨年度の活動における、盛岡YMCAに集うリーダー達の大きな活躍には、参加された維持会員の皆様より称

賛の声が寄せられていました。

総会終了後、引き続き、シロクマリーダーこと家村知佳スタッフによるフィリピンワークキャンプの報告、およびゴリナリーダーこと武田悠さんによるインドスタディキャンプの報告がそれぞれ行われました。どちらも熱のこもった、大変興味深い報告でした。

今回の総会においては、維持会員の皆さんより、YMCAの活動に対して、あたたかなまなざしと応援の声を頂いたことが印象に残っております。皆さんのあたたかな応援を糧に、盛岡YMCAは2016年度もよりよいプログラムを作り上げるべく邁進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



サマーキャンプ、6/12より募集開始！！

ずいぶん暑い日が続く、夏の足音が感じられるようになってきましたね。7月からはいよいよ夏本番、YMCAのサマーキャンプが始まります！！

サマーキャンプの開催に先立ち、6/12よりキャンプへの申し込みの受付を開始いたします。ぜひ早目のお申し込みをよろしくお願いいたします。

今年のキャンプは以下の5つ！どれも楽しさいっぱいのキャンプとなることでしょう。みなさんのご参加をお待ちしております！



①わんぱくキャンプ

初めてだらけの事に、自分たちでチャレンジするのがわんぱくキャンプです！

お家の人がない中でのお泊まりは不安だと思います。でも、一緒にキャンプに行く仲間や大学生のお兄さん・お姉さんがいれば大丈夫！！

みんなで遊ぶのはもちろん、ご飯を作ったり、テントの中で普段とは違う時間をすごしたりと、楽しい事が盛り沢山！！

仲間と一緒に過ごす時間、チャレンジをした時間が自信へとつながっていくキャンプです。

場所：都南つどの森キャンプ場

日程：7月17日～18日（1泊2日）

対象：年中児～小学校低学年（定員35名）

参加費：一般15,000円 会員13,000円

②サッカーキャンプ

サッカーを通して、技術の向上や体力の向上だけではなく、助け合うことや思いやりの心を育む3泊4日のキャンプ。

仲間と共にキャンプを過ごすことにより生まれる気づきを大切に、人と人との出会いの中で「強く・たくましく・頼もしく」成長するキャンプです。

サッカーだけでなくプールやバーベキュー、レクリエーションプログラムも盛りだくさん！

サッカーや運動が苦手な子も楽しめます！

最終日にはチーム対抗で行う「岩手山カップ」が開催されます。

場所：八幡平いこいの村岩手

日程：8月1日～4日（3泊4日）

対象：小学1年生～中学3年生（定員40名）

参加費：一般40,000円 会員37,000円

③星空満天キャンプ

岩手山が隣にそびえ立つ最高のロケーションで1泊2日のキャンプ。テント設営、薪割り、火付け、野外調理といったキャンプの定番を味わえるのはもちろんのこと、このキャンプの醍醐味といえば…手を伸ばせば届きそうなほどの夜空いっぱいに広がる星たち！！

キャンプで出会った素敵な仲間たちと一緒に、一生忘れられないような

満天の星をこの目に焼き付けよう！

1泊なのでキャンプ初心者でも気軽に参加できます。

キャンプとは互いに助け合って、自分たちで楽しさを作り出していくもの！

最高の夏の思い出をぜひ一緒に作って行こう！

場所：岩手山焼走り国際交流村キャンプ場

日程：8月5日～6日（1泊2日）

対象：小学1年生～中学3年生（定員30名）

参加費：一般14,000円 会員12,000円

④森の大自然満喫キャンプ

普段目にする事のない景色、普段耳にする事のない音、普段経験することのない仲間との貴重な時間を味わってみませんか？

自分たちで火をおこしご飯を作る。大自然の中で走りまわる。

草木のさわやかさと鳥たちのさえずりの中、みんなで素敵な時間を過ごし、夏休みの思い出を作しましょう！

場所：盛岡市外山森林公園キャンプ場

日程：8月8日～9日（1泊2日）

対象：小学1年生～中学3年生（定員35名）

参加費：一般14,000円 会員12,000円

⑤島のわくわくキャンプ

大人気の気仙沼大島でのサマーキャンプがいよいよ今年から復活します！

安全運営が行われている休暇村気仙沼大島で、大自然の中、安全に海水浴や磯遊びといった海での遊びを満喫します。

自然の恵みや海の恵み、そして何よりも仲間の大切さを感じ、日常では決して味わえない、ゲームや漫画とは違う本物の遊びを満喫しよう！

今年の夏一番の思い出を島のキャンプで一緒に作りませんか！？

場所：宮城県気仙沼市 休暇村気仙沼大島

日程：8月9日～12日（3泊4日）

対象：小学1年生～中学3年生（定員30名）

参加費：一般37,000円 会員35,000円

お申し込みや、お問い合わせの際は、以下の番号にお電話ください。

☎019-623-1575（盛岡YMCA本部 平日10:00～19:00受付）

☎090-6138-4786（担当：伊藤 土日祝10:00～19:00受付）



↑ 今年からは、気仙沼での海のキャンプが復活します！！



↑ キャンプでは、さまざまな生き物にも出会えます♪

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 5月報告書



今月も引き続き、宮古小学校でのサッカースクールを行っています。活動の様子について、サトちゃんリーダーこと向平悟さんより報告が届いています。

今年度も宮古サッカースクールが開講されています。1年生が多かった昨年度。それぞれ学年が上がり新1年生も数名入ってきたことによってお兄さんお姉さんになった姿も見られるようになりました。練習中も自分たちでどうやったらうまくいくかを考え、あの子には負けたくない！という気持ちのもと練習しています！

昨年度チャンピオンズカップに参加し、明確な目標、勝ちたいという気持ちが芽生え、練習最後の試合でも自分よりも大きな相手に対して戦いに行く姿や転んでも泣かずに立ち上がる姿など見ることができるようになりました。試合中の声の部分で仲間に対して諦めるな！や頑張れなどといった声も聞かせるようになりました。どんな時でも元気よくリーダーたちに声をかけてくれ、一緒にサッカーをしている仲間たちのことが大好きな宮古サッカーの子たち。これからも笑いあり涙ありの楽しいサッカースクールであり続けたいと思います！

リーダー紹介コーナー♪

今回マンボーこと佐藤妃奈さんを紹介するのはこの私！盛岡大学児童教育学科2年れんげこと槻山瞳です！（花の蓮華ではなくラーメンを食べるときに使うレンゲですのでお間違えなく！）

マンボーも私と同じ盛岡大学児童教育学科の2年生です。夢に向かって日々真面目に（？）勉学に励んでいます！

マンボーはまずよく食べる子です。先日、自宅から持ってきた白米を、学食で買ったラーメンのスープに入れて幸せそうに食べていました。（男子かっ！）

また、よく寝る子です。授業中に首が迷子になっている所を多々見かけます。（よい子は絶対にマネしないでください）

そして、絵が上手な子です。彼女のプリントを見てみると、大好きなポケモンの絵で埋め尽くされています。（先生の話さきちんと聞いてメモを取りましょうね）

最後に、儉約家というかけな子です。スクールバス代がもったいないと彼女は言い、家から学校まで一生懸命自転車通っています。（これからの季節熱中症に注意！）

つまりマンボーをまとめると、嵐の松本潤が大好きだということです！（私は二宮くんが好き♡）冗談はさておき、マンボーは一人ひとりをしっかりと見て接することができる、真の心の優しい人だと思っています。盛岡YMCAにはなくてはならない存在です。

はちゃめちゃな紹介文になってしまいましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます！こんな私たちですがよろしくお願ひします。以上れんげでした♪



6月の予定

- ★6月12日(日)
サンデースクール
「かまぼこ作り」
(於: 仙北地区活動センター)
- ★6月18日(土)
森のようちえん
「たき火でパンづくり」
おりようりキッズ☆
(於: 都南つどの森)
- ★6月21日(火)
火曜水泳休講
- ★6月25日(土)～26日(日)
アドベンチャークラブ
「テントに泊まるう♪」
(於: 八幡平県民の森キャンプ場)
- ★6月29日(水)
水曜水泳休講
盛南スクール休講
- ★6月30日(木)
高松スクール休講
向中野スクール休講



君でいいんだよ

～JUST THE WAY "YOU" ARE 24～

「変化について」



先日、落語家である桂歌丸師匠が長寿番組『笑点』を勇退した。2006年5代目司会者に決定した時、テレビ関係者から「どういう風に番組を変えていきますか」と尋ねられた。師匠はその時こう答えたと言う。「**変えようとするから駄目なんだ。私たちの**

中で自然に変化していくことが大切なんだ。変わらないことが変わる事なんだ。」一方、盛岡で有名な冷麺屋さんで働いている人から、実はスープの味は試行錯誤しながら微妙に変化を加えているという話を聞いたことがある。ほんの少し味付けを変えることで逆に僕たちは、いつも変わらぬ美味しいスープの味を味わうことが出来ている。

今の時代は、スピードが要求される時代だ。東京出張は日帰りできるし、ネットで昨日注文した商品が今日には届いたりする。世の中の人達の興味、関心が移り行くスピードもあつと言う間だ。

「変わらなきゃ!」「変わらなきゃ!」「変わらなきゃいけない!」とプレッシャーをかけてくる社会の中で、僕たち日本人の多くは「変わりたい!」「変わりたい!」「変わりたい!」と願いつつあくせく生きている。ところが、人間はそんなにおいそれとは変わるものではない。時代の要求と現実の自分のギャップに、僕たちは疲れ切ってしまうのだ。

さて、世の中には、「変えていいもの」「変えてはいけないもの」「変えなくてはいけないもの」の3つがあると思う。そして、これらの内容は、人によって様々だ。変化が速すぎる今という時の流れの中で一度立ち止まってみて「変えてはいけないもの」を身の周りや自分自身の中に探すこともまた、自分が変わっていく契機なのかもしれない。

あなたがたが新たに生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変わることのない生ける御言葉によったのである。
(口語訳聖書 新約 ペテロの手紙一 1:23)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

おいしくできた?

今年度も、サンデースクールが行われています。サンデースクールとは、大学生のリーダー達によってすべて企画される、料理や工作などのプログラムです。リーダー達によって作り上げられたサンデースクールは、成長を遂げ、今や大人気のプログラムとなりました。



5月のサンデースクールでは、「コロネ作り」が行われました。リーダーに教わりながら、生地をつくり、型にまきつけて、好きなクリームを入れて…と、ワクワクドキドキのお料理タイムとなりました。

生地をオープンに入れ、焼きあがったら、いよいよ試食タイム!自分でつくったおいしいコロネに、子どもたちからは歓声があがりました。

参加した子どもたちには、今回のレシピもプレゼントしています。おうちでもぜひ作ってみてくださいね♪



インドでゴリナも考えた。③

インドスタディキャンプに参加したゴリナリーダーこと武田悠さんより、報告第三弾です!

「平和の塔を建てるお手伝いをしに行かないか?」スレッシュからの一言で私たちは9時間ほどかけ、平和の塔を建てているお坊さん、石谷さんの家を訪れた。

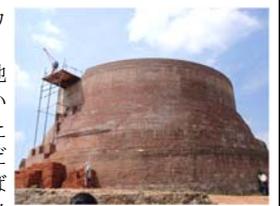
右の写真が石谷さんのお宅。日本山妙法寺と書かれた扉があり、お師匠さん、藤井日達さんが創設したものだそう。ここに私たちは、2日間滞在した。



そこで私たちは、石谷さんからたくさんのお話を伺った。石谷さんのこれまでの生き方は想像以上の衝撃を受けた。

若い頃、人はどう生きるべきなのかを知るためにインドへ。そこで出会ったのがお坊さん、藤井日達さんだった。「インドの人を助けたい、救いたいのなら、インドの乞食となりなさい。インドの人より贅沢してはならない。」その言葉に感銘を受け、お坊さんとなった。スリランカの内戦(インドの民族紛争)が始まってからは、ヒンドゥー教、イスラム教、仏教などの宗教を超え、多くの人々と共に平和行進を行った。だが、その行進は大統領からの脅迫を受け、中断せざるをえなかった。その中で一人、スリランカに残った石谷さんは、太鼓を叩き平和を祈りながら村中を歩き続けた。毎日が死と隣り合わせで、銃で撃たれながら平和を祈った。その後、日達さんの言葉に

より、インドのカニャクマリの地で、「平和の塔」を現地の人々と建てている。40mにもなった「平和の塔」はまだまだ高くしなければならぬようで、私たちもお手伝いをしてきた。



そんな私たちとは全く違う世界を生きてきた石谷さんからのお話で、とても印象に残っている言葉がある。それは、「何があっても殺してはいけない。殺されても殺してはいけない。みんなの心の中に仏がいる。」という言葉だ。殺されても殺してはいけない。その言葉の重さに、強い信念、また想いを感じた。



そうした石谷さんの言葉は、私のこれまでの生き方を考え直すきっかけとなった。私が殺されそうな状況下になったら、相手を殺さずにいられるだろうか。

また、私はこれからどのように生きようか。人のため、他者のため、平和のため...?世界で紛争やテロが絶えない中、宗教の違い、男女の違い、年齢の違いなどを超え、平和を祈っている人たちがいる。ここにはすごく大切な、人への愛がたくさん詰まっているように感じた。

私は、石谷さんのように強い信念を持ち、人を心から愛することのできる人間になりたい。

表紙の写真から



リーダーキャンプにて、参加したリーダー全員の集合写真! 日帰りにはなってしまいましたが、楽しいキャンプとなりました。

感謝

(2016年度
5月31日現在
五十音順・敬称略)

●維持会費

飯島隆輔、伊藤寛太郎、伊藤愛美、昆野香代子、佐藤翔、高瀬裕彦、花田

●寄附金

昆野香代子、佐藤翔、高瀬裕彦、花田

●東日本大震災被災地支援募金・献品

飯島隆輔、私立捜真小学校

●熊本地震・YMC A救援・復興募金

石崎眞珠、伊藤克見、伊藤寛太郎、藤原一郎、伊藤寛太郎、小畑孝子、北田アユ子、君塚彩、熊谷亜希子、熊谷力實、昆野香代子、昆野璃紗、菅恵、名古屋恒彦、増田隆、吉田航平、吉田美波

●熊本地震被災YMC A支援募金

石崎眞珠、伊藤寛太郎、伊藤愛美、岩井和己、鶴丹谷三千代、遠藤昌輝、大間靖二、工藤泰、高橋亜也子、滝川佐波子、坂春希、女鹿乃々華、吉早田飛太郎